

【原産地:岐阜県】

台帳No	K30	品目	シイタケ
生産者	岩田一郎	品種	北研

資材名	原料	メーカー(購入先)	使用目的	遺伝子組換	計画			実績		
					使用量	使用時期	回数	使用量	使用時期	回数
チップ	広葉樹	金子林産(有)	菌床		菌床製造本数により変動	通年	通年	菌床製造本数により変動	通年	通年
ふすま	小麦粉	(株)オールインワン大阪	栄養体		菌床製造本数により変動	通年	通年	菌床製造本数により変動	通年	通年
米糠	米	オリエントジェネライズ(株)	栄養体		菌床製造本数により変動	通年	通年	菌床製造本数により変動	通年	通年

作業名	計画(日数・時間)	実績(実施日)	所要日数等
菌床仕込み	1日	通年	左記と同じ
高压殺菌	1日	通年	左記と同じ
冷却	1日	通年	左記と同じ
植菌	1日	通年	左記と同じ
培養	120日	通年	左記と同じ
発生	7~14日	通年	左記と同じ
収穫	10~90日	通年	左記と同じ
廃棄	1~2日	通年	左記と同じ
全行程: 210日程度	1サイクル収穫90~120日間	収穫量 100t	年間 2.5~3 サイクル

分類	商品名	原料	メーカー(購入先)	使用目的	計画				実績				使用回数上限 (商品/成分)	
					希釈倍率	使用量/10a	使用時期	回数	希釈倍率	使用量/10a	使用時期	回数		
土壌消毒・除草・殺虫・殺菌・その他														
土壌消毒・除草・殺虫・殺菌・その他														
土壌消毒・除草・殺虫・殺菌・その他														
土壌消毒・除草・殺虫・殺菌・その他														
土壌消毒・除草・殺虫・殺菌・その他														
土壌消毒・除草・殺虫・殺菌・その他														
土壌消毒・除草・殺虫・殺菌・その他														
土壌消毒・除草・殺虫・殺菌・その他														
土壌消毒・除草・殺虫・殺菌・その他														
土壌消毒・除草・殺虫・殺菌・その他														
土壌消毒・除草・殺虫・殺菌・その他														
土壌消毒・除草・殺虫・殺菌・その他														
土壌消毒・除草・殺虫・殺菌・その他														
土壌消毒・除草・殺虫・殺菌・その他														
土壌消毒・除草・殺虫・殺菌・その他														
土壌消毒・除草・殺虫・殺菌・その他														
土壌消毒・除草・殺虫・殺菌・その他														
土壌消毒・除草・殺虫・殺菌・その他														

慣行農法との比較 化学合成農薬 当地比 **不使用** 削減

他社の農場のように完全密閉ハウスで空調を多用して、工業製品並みの栽培をしておりません。夏期は1回目の収穫後、注水をして2回目以降の収穫を行います。冬期は1回目の収穫後は気温が上がる4月頃までそのまま菌床を置いておいて(冬期は注水すると菌床が凍ること、温水暖房の為、椎茸が発生するような温度を保つことが出来ません。それから注水・2回目の収穫を行うため、夏期と冬期では収穫期間に差が出ます。

化学合成農薬	使用農薬回数	地域の慣行防除
土壌消毒剤		
除草剤		
殺虫剤		
殺菌剤		
その他薬剤		
合計		-

【原産地:三重県】

台帳No	K32	品目	シイタケ
生産者	岩田一郎	品種	北研

資材名	原料	メーカー(購入先)	使用目的	遺伝子組換	計画			実績		
					使用量	使用時期	回数	使用量	使用時期	回数
チップ	広葉樹	松阪飯南森林組合	菌床	無	菌床製造本数により変動	通年	通年	菌床製造本数により変動	通年	通年
fw	小麦粉	昭和産業(株)	栄養体	無	菌床製造本数により変動	通年	通年	菌床製造本数により変動	通年	通年
				有・無						

作業名	計画(日数・時間)	実績(実施日)	所要日数等
菌床仕込み	1日	通年	左記と同じ
高压殺菌	1日	通年	左記と同じ
冷却	1日	通年	左記と同じ
植菌	1日	通年	左記と同じ
培養	120日	通年	左記と同じ
発生	7~14日	通年	左記と同じ
収穫	10~90日	通年	左記と同じ
廃棄	1~2日	通年	左記と同じ
全行程: 210日程度	1サイクル収穫90~120日間	収穫量 100t	年間 2.5~3 サイクル

病虫害の防除 使用した天然防除資材・自作資材・農薬(成長調整剤、展着剤等を含む)

分類	商品名	原料	メーカー(購入先)	使用目的	計画				実績				使用回数上限 (商品/成分)	
					希釈倍率	使用量/10a	使用時期	回数	希釈倍率	使用量/10a	使用時期	回数		
土壌消毒・除草・殺虫・殺菌・その他														
土壌消毒・除草・殺虫・殺菌・その他														
土壌消毒・除草・殺虫・殺菌・その他														
土壌消毒・除草・殺虫・殺菌・その他														
土壌消毒・除草・殺虫・殺菌・その他														
土壌消毒・除草・殺虫・殺菌・その他														
土壌消毒・除草・殺虫・殺菌・その他														
土壌消毒・除草・殺虫・殺菌・その他														
土壌消毒・除草・殺虫・殺菌・その他														
土壌消毒・除草・殺虫・殺菌・その他														
土壌消毒・除草・殺虫・殺菌・その他														
土壌消毒・除草・殺虫・殺菌・その他														
土壌消毒・除草・殺虫・殺菌・その他														
土壌消毒・除草・殺虫・殺菌・その他														
土壌消毒・除草・殺虫・殺菌・その他														
土壌消毒・除草・殺虫・殺菌・その他														
土壌消毒・除草・殺虫・殺菌・その他														
土壌消毒・除草・殺虫・殺菌・その他														
土壌消毒・除草・殺虫・殺菌・その他														

慣行農法との比較 化学合成農薬 当地比 **不使用** 削減

他社の農場のように完全密閉ハウスで空調を多用して、工業製品並みの栽培をしておりません。夏期は1回目の収穫後、注水をして2回目以降の収穫を行います。冬期は1回目の収穫後は気温が上がる4月頃までそのまま菌床を置いておいて(冬期は注水すると菌床が凍ること、温水暖房の為、椎茸が発生するような温度を保つことが出来ません。それから注水・2回目の収穫を行うため、夏期と冬期では収穫期間に差が出ます。

化学合成農薬	使用農薬回数	地域の慣行防除
土壌消毒剤		
除草剤		
殺虫剤		
殺菌剤		
その他薬剤		
合計		-